



CANジャーナル

2026
令和8年
5月号

学校法人 中村学園
専門学校 静岡電子情報カレッジ
静岡福祉医療専門学校

きみたちは『未来からの留学生』。では、その未来と皆さんは…

進路室長 橋野 幸男

タイトルの冒頭は、経済学者で「政府税制調査会」会長を務めた(1990年～2000年)加藤寛先生の言葉です。新たな学部を創設する際にその責任者だった先生が、「**未来を創造する人材像**」として掲げたコンセプト。「学生こそが未来社会の主役であり、彼らが直面するであろう未知の課題を発見し、解決する能力を育む場として、高等教育機関は存在すべきだ」という強い意志を込めたものです。つまり、『未来からの留学生』とは、「現代社会を未来の視点から見つめ、**来るべき社会の課題を自ら発見し、その解決策を創造・実践する主体**」として学生を捉える、「未来志向の学生観」なのです。**変化が激しく、未来予測が困難な現代 (VUCA 時代)** に身を置く私たちは、この『未来からの留学生』を育むという思想に共感を覚えるのではないのでしょうか。

皆さんが生きるこれからの社会には、三つの「ビッグ・ウェーブ」があると思います。

①「人生100年時代」、② 前述の「VUCA 時代」、そして ③「2040年問題」

誰もが100年を生きる、それが①です。そんな人生では、「学び」は卒業では終わらず、一生涯アップデートし続けるOS(オペレーティング・システム)のようなものになります。「ワーク・ライフ&ラーニング バランス」や「リスクリング」という言葉を耳にしたことがあるでしょう。「**学び続ける**」人生です。従って、これからの学生生活で「**学び方**」も身に付けてください(例えば、「**π型人材2.0**」「**Learning agility** [学習の俊敏性]」など)。

次に、②の時代では、「**正解のない問い**」に対して**自ら仮説を立て、しなやかに試行錯誤を行なう力**が求められます。「N-Cap」や「産学連携」など諸活動で様々な挑戦にチャレンジし振り返りを行なって(「**経験学習**」のサイクル)、こうした力を涵養してください。

そして、③、2040年に団塊ジュニア世代が65歳以上となり、高齢者数がピークに達します。「2040年問題」とは、未曾有の少子高齢化で現役世代が激減することに起因する「**深刻な労働力不足**」「**社会保障の担い手の減少**」や「**社会インフラ維持の困難**」など、そのとき直面するであろう社会課題の総称です。

去る3月14日の本学「卒業証書授与式」で、卒業学生代表は「答辞」で次のように述べました。

＝ 私たちがこれから歩む社会は、**未曾有の少子高齢化の進行により、いわゆる『2040年問題』と呼ばれる大きな転換期を迎えると予想されています。** <中略> そうした時代に「**各職域で中核を担う世代**」となる私たちは、本学で培った「**専門性と人間力**」を礎にさらに**学び続け、また、進化するAIなど新たな技術を取り入れながらDX化を推進し、『一人ひとりの多様な幸せと社会全体の豊かさ (well-being) の実現』に貢献していく覚悟です。**＝

進化するAIやロボットを活用し生産性を向上させるために、「**デジタル・スキル**」は電子情報の学生だけでなく福祉医療の皆さんにとっても、「**持っていて当たり前、個人インフラ (パーソナル・インフラ)**」になります。**本学2 専門学校のコラボ**

を活用し、そのインフラを各自の中に築いてください。

なお、これに関連して、文部科学省『今後の専修学校における質保証・向上に向けて(議論のまとめ)』(3月10日)の一部を紹介します(「3-(2)-② 生産性の高い人材育成」から)。

＝ **わが国において労働人口の大幅な減少が見込まれている中、これまでと同水準の経済規模等を維持していくためには、より生産性の高い人材が必要である。そのためには、特に各地域を支えるエッセンシャルワーカーが、AIやデジタル技術等を使いこなし、生産性を上げていくこと等が重要であり、専門学校においても各分野において、そうした人材を育成していくためのカリキュラムを開発していくことが求められる。**

＝ こうした社会からの要請の中で、本学でも「**AI×DX プロデュース専攻科**」を新設しました。本学の教育環境をフルに活用し、皆さんも『未来からの留学生』として、2040年以降の社会を創る主人公」となるためのマインド・実力を培ってください。



令和8年度 新入生御殿場宿泊研修



令和8年4月13日(月)～ 4月15日(水)

『利他の心』で歩み出す、「ありがとう」を想像できるプロを目指して

1年学年部主任 山本 佳郁代

4月13日～15日の3日間、令和8年度新入生御殿場宿泊研修を実施しました。

「将来の就職に向け、挨拶を基調とした本学の学生としての心構えを身に付けると共に、一人でも多くの心の友(親友)ができる関係づくり」を目的として研修に取り組みました。校長先生による訓話や、なりたい自分になるために自己のキャリアデザインの具現化を図り、自らが学ぶ姿勢を身に付けました。具体的には、『より良い就職をするために』というテーマのもと、自らが目指す職業人としての人物像について学生同士で意見を出し、活発に話し合いを進めました。最終日の発表会では、学ぶ意識を踏まえて仲間と共有することができました。

また、感謝の気持ち・思いやる心を持ち、相手の立場になり行動することの大切さにも気付く事が出来ました。新入生の皆さん、校長先生をはじめ、先生方から教えていただいたことを胸に刻み、自分の目標(夢)に向かって全力で取り組み、充実した学生生活を送りましょう。



礼儀、感謝の気持ち、仲間の大切さ

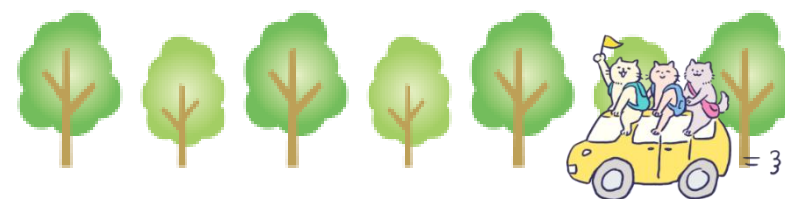
総合福祉学科 渡邊 愛理

私はこの宿泊研修を通して、礼儀、感謝の気持ち、仲間の大切さに気づくことができました。

礼法では、「相手を敬う心」や「大切に作る心」を学びました。あいさつや言葉遣いは、相手との関係をよりよくするために大切だと感じました。この研修中に、周りの方々に支えられていることを実感することができ、感謝の気持ちを言葉や行動で伝えていきたいと思いました。

また、仲間と協力してアクティブラーニングに取り組む中で、さまざまな意見を取り入れることができ、多くの気づきを得ることができました。他学科の発表を聞き、違う視点からの意見も知ることができて良かったです。

これからの学校生活では、相手の立場に立って考えることや、感謝の気持ち、あいさつを大切にしていきたいと思います。そして、仲間と協力し成長に繋げていきたいです。



御殿場宿泊研修での学び

介護福祉学科 戸塚遥香

私は御殿場宿泊研修を通して、仲間と協力することの大切さを学びました。

私はこれまで、自分一人で考えて人前で発表することが苦手で、不安を感じるものが多くありました。そのため、最初はこの宿泊研修にも不安な気持ちがありました。

しかし、グループで意見を出し合う中で、クラスの人たちと少しずつ打ち解けることができました。一人で抱え込むのではなく、みんなで協力して考えることで、不安も和らいでいきました。また、発表の場でも「みんなでやっている」という安心感があり、最後までやりきることができました。

この経験から、仲間と協力することで自分の苦手なことにも前向きに取り組めるということを実感しました。最初は不安だった宿泊研修でしたが、終わってみると楽しかったと感じることができ、自分にとって大きな経験になりました。今後の学校生活でも、この経験を活かして積極的に行動していきたいです。

御殿場宿泊研修を終えて

子ども心理学科 坂東 梨緒菜

私は、今回の御殿場宿泊研修を通して、努力したいと決意したことが3つあります。

一つ目は、「挨拶を大切にすること」です。自分から明るく挨拶をすることで、相手との信頼関係を築き、安心できる環境を作っていけるよう努力します。二つ目は、「利他の心を大切にすること」です。周囲のことを考え、悩んでいたり困ったりしている人に自分から気づき、行動できるようにしていきます。三つ目は、「時間を意識して行動すること」です。時間を守るだけでなく、余裕を持って行動し、周囲にも良い影響を与えられる人を目指していきます。

また、日々の生活の中でもこれらを意識し、「当たり前ができる」ようにしていきたいです。そして、将来は保育者として子ども一人ひとりに寄り添える存在になるよう、この三年間で自分を成長させていきたいと思っています。

より良い就職をするためには

視能訓練士学科 辻松 汐菜

今回の御殿場研修では、3日間「より良い就職をするためには」をテーマに、各班で今後3年間をどのように過ごしていくべきかについて話し合いました。

視能訓練士学科では、向上心を持って行動することや、挨拶をはじめとしたコミュニケーション能力を高めることなど、人間力を磨くことの大切さが挙げられました。これらは、患者さんに関わる視能訓練士にとって欠かせない力だと感じました。私は、ボランティア活動や日々の講義、現場実習など、与えられた機会をただこなすのではなく、目的を持って積極的に取り組み、自分自身の成長につなげていきたいです。また、挨拶をはじめとしたコミュニケーション能力は、日々の積み重ねで身につくものだと思います。学内外を問わず、明るく気持ちの良い挨拶を心がけることで、日々の生活から習慣づけていきたいです。

それぞれが思い描く視能訓練士像を具現化し、より良い就職ができるよう、充実した3年間の学生生活を送りたいです。



これからの学生生活に向けて

ITゲーム&ロボットシステム学科 勝又 吏雄

3日間の宿泊研修を通して私は、リーダーシップが取れるようになりたいと考えるようになりました。そのために今後意識していきたいことが2つあります。

一つ目は、「自分にも目を向ける」です。私の中でリーダーシップとは「気配り」が大切だと考えるため、周りに目を向けることが必要だと考えています。しかしそれは、自分のことができたうえで挑戦できることであるため、改めて自分にも目を向けてその上で周りに「気配り」ができるようにしていきたいと考えています。

二つ目は、「状況の整理をする」です。リーダーシップを発揮して様々なことに挑戦していく上で、タスクが積み重なることもあると思います。その時、冷静になり自分が今すべきことを順番にこなす力を鍛えていくことが必要だと考えたからです。

この他にも、積極性を持つことなどの必須事項もあると考えていますが、それらも含めこれからの学生生活に挑みリーダーシップを鍛え、有意義な学生生活を送りたいと考えています。

御殿場宿泊研修を終えて

音響&映像メディアクリエイイト学科 小山 颯太

今回の御殿場宿泊研修を通して、今後の学校生活や社会に出てから大事にしていきたいことが3つあります。

一つ目は挨拶です。私たちのクラスは御殿場宿泊研修にて他の団体の学生や先生たちへ挨拶をしました。挨拶を返してもらえると清々しい気持ちになり、挨拶をして良かったと思いました。これからも、元気な挨拶を心掛けていきたいです。

二つ目は交流です。私は初対面の相手が多く緊張していましたが、宿泊研修のレクリエーションの班やクラスのみならずと関わっていくにつれて、絆が芽生え、友達が増えたため、交流できる時間や仲間を大切にしていきたいです。

三つ目は挑戦・経験です。私は今回の宿泊研修を通して成長をしたと思っています。この経験で培った知識を新たな挑戦に活かしていきたいです。

この三つのことを大切にしながら、将来に向けて一歩踏み出し、不撓不屈の精神で学校生活に精進していきたいです。

広報室より



企画広報室 深澤 満奈美

新年度がスタートして1ヶ月が経ち、1年生の皆さんも学校生活のリズムをつかみはじめた頃でしょうか。キャンパスのあちこちで学生同士の笑顔や活気ある声が聞こえ、新たな年度の幕開けを感じています。

企画広報室では現在、今年度の学校案内・募集要項のリニューアルを本格的に進めながら、高校生やその保護者の方々に本校の魅力をより身近に感じていただけるよう、オープンキャンパスでの体験授業や在校生との交流など、内容をさらに充実させられるように鋭意取り組んでいるところです。

今年度も、「学校の雰囲気や、自分の目で確かめてほしい」—その思いを大切に、ご来場いただいた一人ひとりに温かく向き合える場をつくってまいります。

在校生の皆さんにも、ぜひ身近な高校生へ本校のことを伝えていただけると嬉しいです。皆さんの言葉が、未来の仲間との出会いにつながっています。

5月の行事

- 1日(金) 春季スポーツ大会(草薙運動場)
- 3日(日) 憲法記念日
- 4日(月) みどりの日
- 5日(火) こどもの日
- 6日(水) 振替休日
- 9日(土) 後援会総会
- 12日(火) 3CP教育実習事前研修 ~14日(木)
- 14日(木) 電子面接指導
- 15日(金) 春季スポーツ大会(予備日)
- 16日(土) オープンキャンパス13:15~
- 20日(水) 2CP(保育実習I(保育所)事前研修 ~22日(水)
- 21日(木) CO卒業生を囲む会(PM)
- J検・B検CBT
- 27日(火) 創立記念日 カーペット・ガラス定期清掃
- 28日(木) オープンキャンパス17:00~

OPEN CAMPUS

◇5月16日(土) ◇5月28日(木)
 ◇6月13日(土) ◇6月25日(木) ◇7月4日(土)

夏休み Special オープンキャンパス



7月25日(土) .8月8日(土) .8月22日(土)

※開催時間 平日 17:00~18:45/土曜日 13:15~15:45

